

器具用低位吸気弁 取扱説明書

品番	Mコード	対象器具
HBVLK縦32	71613	洗面/手洗い
HBVLK横32	71614	洗面/手洗い
HBVLK縦40	71615	台所流し
HBVLK横40	71616	台所流し

この度は、器具用低位吸気弁をご採用いただきありがとうございます。
この取扱説明書は、器具用低位吸気弁を正しく取り付け、使用していただくためのものです。
施工の前に必ずお読みください。また、いつでも見られる場所に保管してください。




洗面用



台所流し用

■取扱い上の注意

本製品を施工する際には、以下の注意事項を厳守してください。

※この取扱説明書では、事故防止に関する情報を  で示します。



この表示を無視して取扱いを行った場合、使用者が軽傷を負うかまたは、物的損害が想定される内容を示しています。

特長

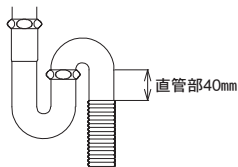
- 洗面、台所流し等の器具下排水トラップ排水管に設置できます。
- 排水逆流時には、逆止弁で止水できます。
- 製品高さが200mm以下とコンパクトなので、省スペースでの設置が可能です。
- 排水トラップの封水が保護されます。

1. 注意事項…………… P. 2 ～ P. 3
2. 構造及び機能の説明…………… P. 4 ～ P. 5
3. 施工前の確認…………… P. 6 ～ P. 7
4. 取付方法…………… P. 8 ～ P.15
5. 設置例…………… P.16

1. 注意事項

- ①器具用低位吸気弁は、吐き出し機能はありませんので、正圧解消を目的とした設置はしないでください。
- ②器具用低位吸気弁を設置する前に、十分な設置スペースやトラップの製品形状を確認し、設置可能か検討してください。

※Sトラップのジャバラタイプは、トラップ直管部が40mm以上ないと使用できませんので、ご確認ください。



- ③配管工事終了後、袋ナット等に接続不良がないことを確認し、実際に排水して水漏れがないことを確認してください。
器具用低位吸気弁の袋ナットは手締めですが、トラップに付属されている袋ナット等についてはメーカーの締め付け方法に従ってください。
- ④施工前の保管に関して、車中等の高温になるような所に長時間保管しないでください。製品の変形等のおそれがあります。
- ⑤取扱いにより落下した製品は設置しないでください。
落下の衝撃により内部が破損し、性能(気密性や作動性)が確保できず、臭気漏れや漏水のおそれがあります。



- ⑥器具用低位吸気弁のカバーを分解しないでください。製品を分解すると性能（気密性や作動性）が確保できず、臭気漏れや漏水のおそれがあります。

カバー
分解禁止



- ⑦器具用低位吸気弁は、必ず垂直に取り付けてください。斜めや横向きに設置すると弁は正常に作動せず、臭気漏れや漏水のおそれがあります。

斜め



- ⑧施工前の保管や施工時において、弁体部にごみやホコリが入らないように注意してください。ごみ等が付着すると、臭気漏れや漏水のおそれがあります。

弁体部
ゴミ・ホコリ



- ⑨製品内部に手や工具を入れ、弁体部（弁体・パッキン）に触れないでください。製品性能が確保できず、臭気漏れや漏水のおそれがあります。

手
工具



- ⑩器具用低位吸気弁の近くにモノを置く場合、通気部吸込口から必ず10cm以上離してください。吸込口がふさがれると、通気が行なえず排水トラップの封水を保護することができないおそれがあります。

通気部
吸込口



- ⑪排水管を清掃する場合は、器具用低位吸気弁を取り外してください。

2. 構造及び機能の説明

●器具用低位吸気弁の種類と対象器具

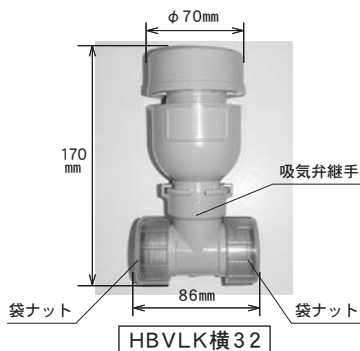
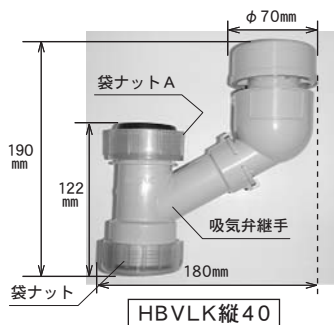
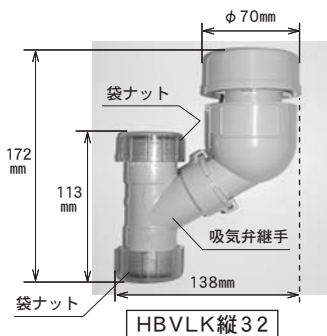
器具用低位吸気弁は、表-1に示す排水トラップおよび排水管径に対応しています。

表-1. 種類と対象器具

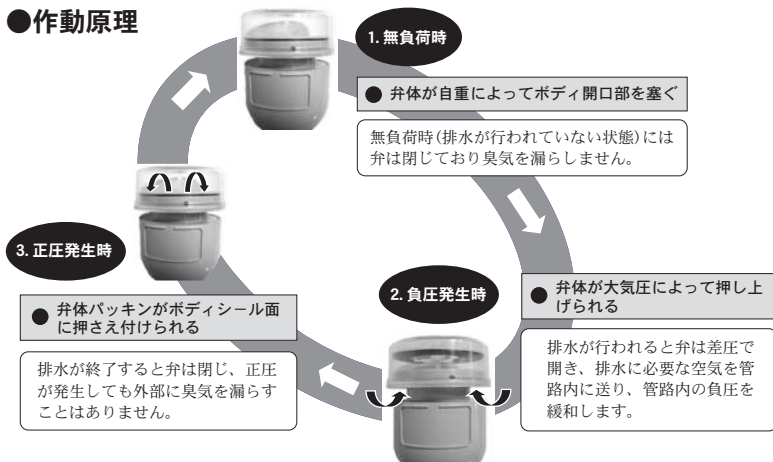
品番	HBVLK縦32	HBVLK横32	HBVLK縦40	HBVLK横40
対象器具	洗面(手洗い)		台所	
適応管種	鋼管/ポリ管		塩ビ管/ジャバラ管	塩ビ管
呼び径	32(25)		40	
トラップ形状	S	P	台所トラップ	
接続管	縦	横	縦	横

※ジャバラ管のネジの呼びG 2

●器具用低位吸気弁の種類と各部名称



●作動原理



●止水原理

- (1)通常時、⑧フロートは下がった状態であり、通気の妨げになりません。
- (2)排水逆流時に、⑧フロートが浮上して通気可動部への排水の浸入を防ぎます。

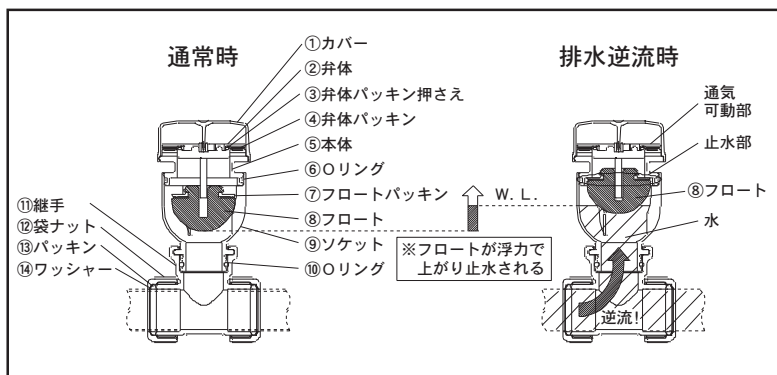


図-1

3. 施工前の確認

器具用低位吸気弁を取り付ける前に、ポリ袋から製品を取り出し、必ず次の(1)～(5)の内容を確認してください。確認作業で異常が認められた場合はお手数ですが、購入先へ連絡し商品を交換してください。

- (1) 図-1 に示す部分 (2カ所) が青色の接着剤で固定されていることを確認してください。(図-3)



器具用低位吸気弁を分解しないでください。

製品を分解すると性能 (気密性や作動性) が確保できず、臭気漏れや漏水のおそれがあります。

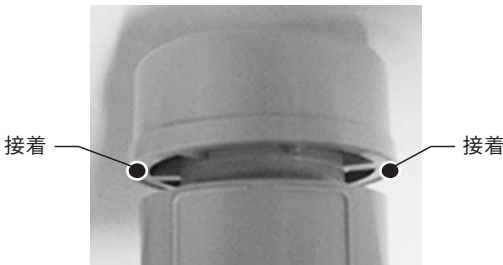


図-2

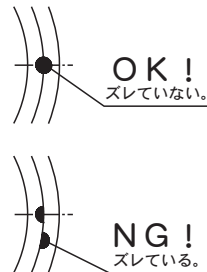


図-3

- (2) 図-4、図-5を参考に、弁体の作動性を確認してください。

製品を逆さまにした状態で弁体が下に落ちる (弁体が開く) か確認してください。次に製品を垂直に立てた状態で、弁体が下に落ちる (弁体が閉じる) か確認してください。

(実際のカバー色調は、メタリックブルーです。)

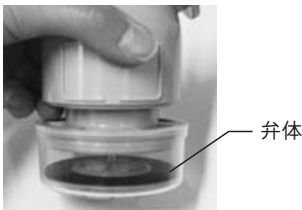


図-4

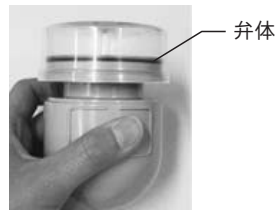


図-5

(3)袋ナットタイプの場合は、それぞれパッキン、ワッシャーが装着されていることを確認してください。(図-6)

(4)HBVLK縦(横)32には、25パッキン[2ヶ](図-7)が同梱されていることを確認してください。

※《接続管の呼び径25の場合》の取付方法はP.14へ

既設パッキン32(図-8)を同梱の25パッキンに付け替えます。

袋ナット、ワッシャーの構成は呼び径32と同じです。

※HBVLK横40については、接着タイプのため、袋ナット、ワッシャー、パッキンはありません。

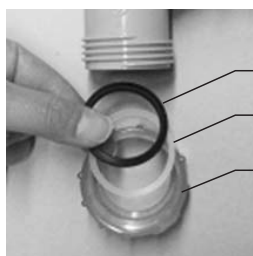


図-6

32パッキン
ワッシャー
袋ナット



図-7



図-8

(5)台所流し・縦管用(HBVLK縦40)は呼び径40(外径48mm)の直管及び袋ナット一体型ジャバラ管に設置することができます。排水トラップ及び袋ナット一体型ジャバラ管のネジの呼びは、G2(※)であることを確認してください。

排水トラップに袋ナット一体型ジャバラ管が接続されている場合は、袋ナットにパッキンが装着されていることを確認してください。(図-9)

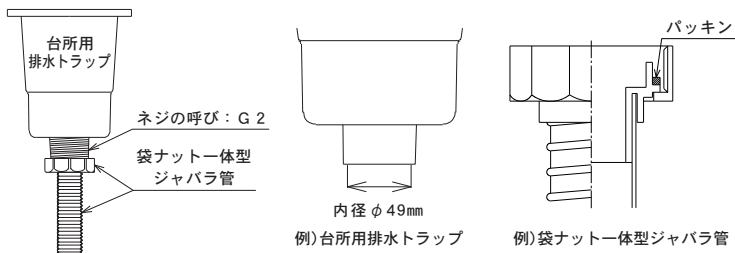


図-9

※ネジの呼びG2：JIS B 0202 管用平行ねじ

4. 取付方法

【洗面・手洗い用】HBVLK縦32

●Sトラップ直管に取り付ける場合

- (1)トラップ中間部の袋ナットを外し、器具下部の防臭栓からパイプを引き抜いてください。
- (2)トラップの曲がり部終端から、直管部40mmを残し、40mm切断してください。(図-10)
- (3)切断した面のバリを取り除いてください。

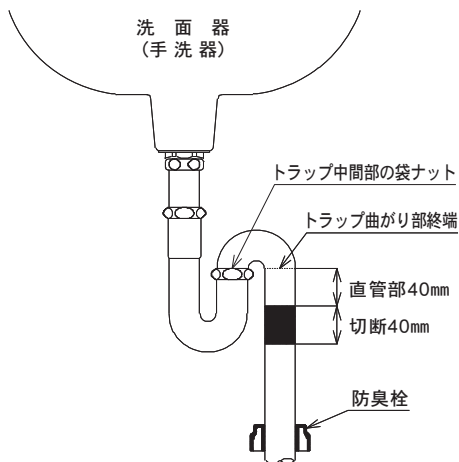


図-10

- (4)吸気弁継手に装着されている袋ナットをゆるめ、パッキンとワッシャーを取り外し、切断後のトラップ曲がり部および直管部に袋ナット、ワッシャー、パッキンの順番で取付けてください。
- (5)次に、吸気弁継手をストッパーまで必ず差し込み、袋ナットを手で締め付けてください。(図-11)

※《接続管の呼び径25の場合》の取付方法はP.14へ

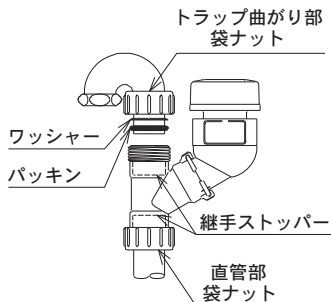


図-11



ワッシャーとパッキンの順番を間違えると、臭気漏れや水漏れのおそれがあります。

- (6)防臭栓を正規の位置に戻し、直管部を防臭栓に差し込みながらトラップ中間部の袋ナットを締め付けてください。



防臭栓が正規の位置に設置されていない場合、臭気漏れや水漏れのおそれがあります。

●Sトラップジャバラ管に取り付ける場合

- (1)ジャバラパイプの切断では、トラップ形成部分は避け、袋ナットの接続に必要な直管部を最低40mm以上残して、金ノコやカッターを用いて切断してください。
- (2)取り付け方法は、上記Sトラップ直管の取り付け方法に従って取り付けを行ってください。

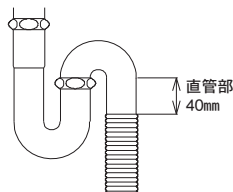


図-12



ジャバラ管への接続は、トラップ直管部が40mm以上ないと使用できませんのでご注意ください。(図-12)
吸気弁継手下流に使用するパイプ口径は外径32mmとし、外径32mmの短管をご用意ください。

4. 取付方法

【洗面・手洗い用】HBVLK横32

●Pトラップに取り付ける場合



製品を取り付ける前に、A部が86mm以上ある事を必ず確認してください。

- (1)トラップ曲がり部終端から、直管部86mmの間隔で印を付け、その中心部へ向かって両端20mmの位置に切断線①・②を引いてください。
(図-13)
- (2)壁側の切断線①を金ノコ等で切断してください。次にトラップ側の切断線②を切断し、トラップ中間部の袋ナットを取り外してください。
- (3)切断した面のバリを取り除いてください。

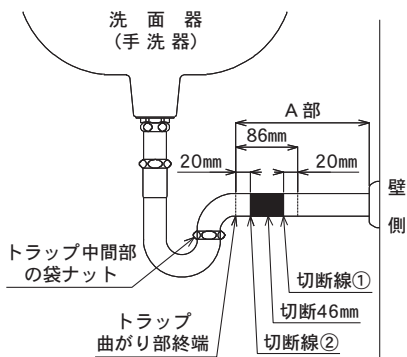


図-13

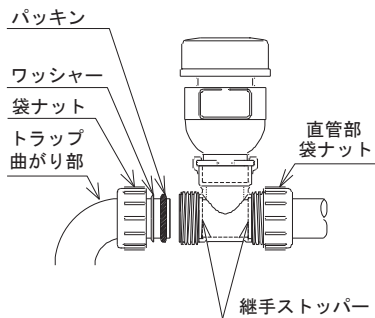


図-14

- (4)吸気弁継手に装着されている袋ナットをゆるめ、パッキンとワッシャーを取り外し、切断後のトラップ曲がり部および直管部に袋ナット、ワッシャー、パッキンの順番で取り付けてください。(図-14)



ワッシャーとパッキンの順番を間違えると、臭気漏れや水漏れのおそれがあります。

- (5)吸気弁継手をストッパーまで必ず差し込み、袋ナットを手で締め付けた上でトラップ中間部の袋ナットを締め付けてください。

※《接続管の呼び径25の場合》の取付方法はP.14へ



袋ナットおよび防臭栓が正規の位置に設置されていない場合、臭気漏れや水漏れのおそれがあります。

【台所流し・縦管用】HBVLK縦40

●直管に取り付ける場合

- (1)排水トラップ下部にある既設の袋ナットをゆるめ、ねじ部端部より85mmの位置に切断線を引き切断します。(図-15)
- (2)切断した面のバリを取り除いてください。
- (3)排水トラップに差し込まれたパイプを抜き取り、既設の袋ナットとパッキンを取り外します。
- (4)吸気弁継手下流に装着されている袋ナットをゆるめ(図-18)、パッキンとワッシャーを取り外し、下部パイプに袋ナット、ワッシャー、パッキンの順番で取り付けてください。(図-16)

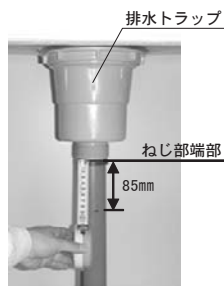


図-15

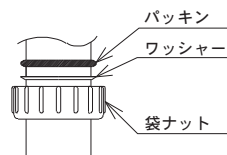


図-16



ワッシャーとパッキンの順番を間違えると、臭気漏れや水漏れのおそれがあります。

- (5)排水トラップ上端の固定用ナット(シンク下の袋ナット)をゆるめ、排水トラップ全体をシンク側に持ち上げます。次に、吸気弁継手のストッパーまで下部パイプに差し込み排水トラップを元に戻します。(図-17)



図-17

4. 取付方法

- (6) 吸気弁継手の袋ナットAを排水トラップのネジ部まで押し上げ、手で締め付けます。その後、継手下流の袋ナットを手で締め付けます。(図-18)

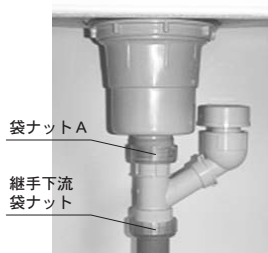


図-18

【台所流し・縦管用】HBVLK縦40

● ジャバラ管に取り付ける場合



袋ナット一体型のジャバラ管は「たるみ」「ゆるみ」がないように接続してください。

管内が閉塞されると、弁が作動せず臭気漏れや漏水のおそれがあります。

- (1) 吸気弁継手下部の袋ナット、パッキン、ワッシャー(図-16)を取り外します。(取り外した部品は使用しません。)
- (2) 排水トラップ下部にある既設の袋ナット一体型ジャバラ管を取り外します。(図-19)
- (3) 吸気弁継手下部に取り外した袋ナット一体型ジャバラ管を取り付け、袋ナットAを排水トラップのネジ部にて手で締め付けます。(図-20)

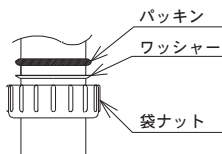


図-16



図-19



図-20

【台所流し・横管用】HBVLK横40



製品を取り付ける前に、A部が80mm以上ある事を必ず確認してください。(図-21)

- (1)排水トラップ側の吸気弁継手の下流端部から、直管部80mmの間隔で印を付け、その中心部に向かって両端22mmの位置に切断線①・②を引てください。(図-21)
- (2)壁側の切断線①を金ノコ等で切断して下さい。
次にトラップ側の切断線②を切断し排水トラップ下部の袋ナットを取り外してください。
- (3)切断した面のバリを取り除いてください。
- (4)吸気弁継手にパイプを接合し、排水トラップ下部の袋ナットを締め付けてください。(図-22)

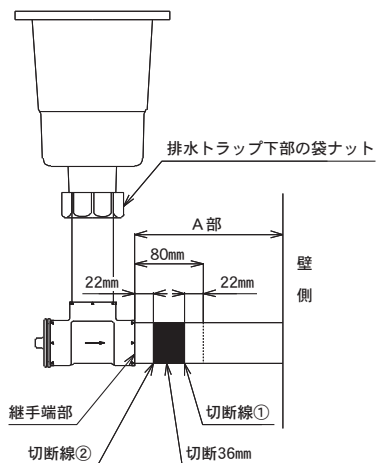


図-21



図-22

4. 取付方法

《接続管の呼び径25の場合》

● Sトラップ・Pトラップに取り付ける場合

(1)基本的な取付方法は、【洗面・手洗い用】P.8～P.11に沿って行ってください。

(2)袋ナットをゆるめた際、既設32パッキンを同梱の25パッキンに付け替えます。

(図-23)

この時、25パッキンの取付位置の目安は表-2の通りです。

パッキン付け替え後、袋ナットを手で絞めつけてください。



パイプを挿入し過ぎると、通気路(図-25、図-27)をふさぐため通気が行えず、排水トラップの封水を保護することができないおそれがあります。



ワッシャーとパッキンの順番を間違えると、臭気漏れや水漏れのおそれがあります。(図-23)



Sトラップジャバラ管への接続の際は、継手下流に使用するパイプは、外径25mmの短管をご用意ください。

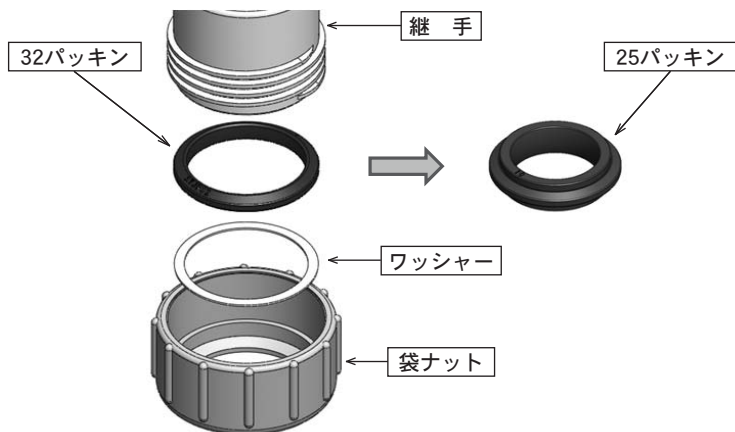
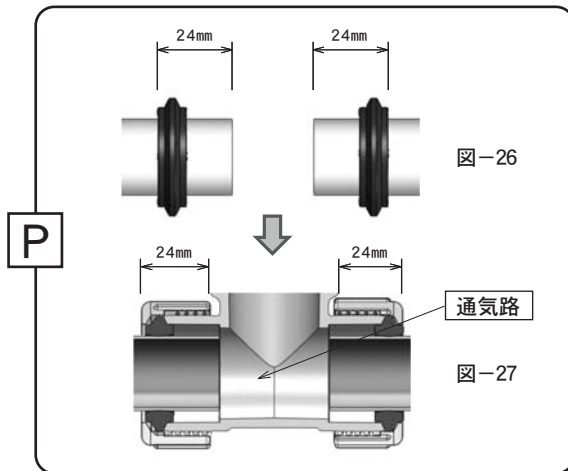
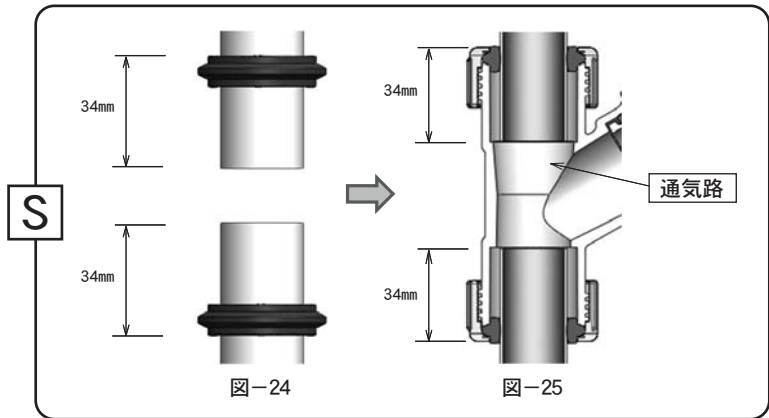


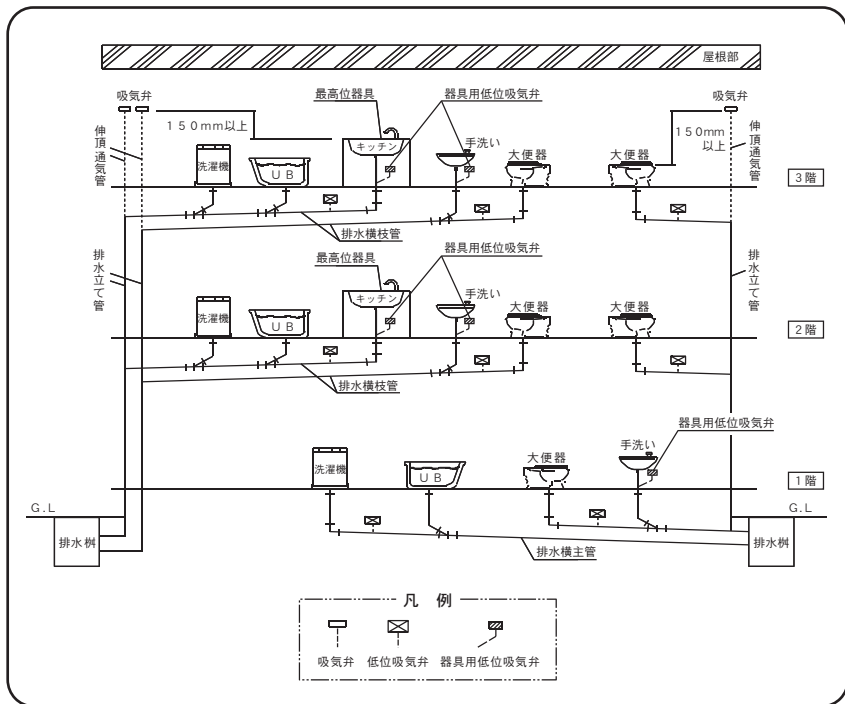
図-23

表-2

トラップ形状	S	P
パイプ端からの寸法	34mm	24mm
パッキン位置	図-24	図-26
接続状態	図-25	図-27



5. 設置例



下記に各支店のご案内をしますが、更に当社ホームページ
<http://www.maezawa-k.co.jp> より最新の営業所一覧がご覧いただけます。

前澤化成工業株式会社

本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-7-1 NOF日本橋本町ビル ☎ 03-5962-0711(代) FAX.03-5695-0161

- 北日本支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命ビル ☎ 022-748-4288(代) FAX.022-748-4366
- 北関東支店 〒330-0841 さいたま市大宮区東町2-20 三井住友海上大宮東町ビル ☎ 048-647-8833(代) FAX.048-647-9825
- 東京支店 〒136-0071 東京都江東区亀戸2-22-17 日本生命亀戸ビル ☎ 03-6807-0668(代) FAX.03-6807-0737
- 中部支店 〒460-0003 名古屋市中区錦2-9-29 ORE名古屋伏見ビル ☎ 052-218-6921(代) FAX.052-218-6920
- 関西支店 〒541-0052 大阪市中央区安土町3-3-9 田村駒ビル ☎ 06-6268-0071(代) FAX.06-6268-0072
- 中国支店 〒730-0805 広島市中区十日市町1-1-9 鷹匠ビル ☎ 082-294-6425(代) FAX.082-294-6428
- 九州支店 〒810-0074 福岡市中央区大手門2-3-11 HTCリハビル大手門ビル ☎ 092-771-7151(代) FAX.092-761-0194